

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和2年4月～6月期の業況実績と、令和2年7月～9月期の見通しについて、管内681先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I. 推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
新型コロナウイルスの感染拡大による 中小企業への影響について	19

(注) 令和2年4月～6月を今期、令和2年1月～3月を前期、令和2年7月～9月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	204	190	93.1	30.0
卸売業	29	29	100.0	4.6
小売業	201	191	95.0	30.2
サービス業	121	111	91.7	17.5
建設業	97	87	89.7	13.7
不動産業	29	25	86.2	4.0
合計	681	633	93.0	100.0

◆◆◆ 概 況 ◆◆◆

《 2020 年 4 月～6 月 》

早いもので、令和 2 年の半分以上が過ぎ、本来なら佳境を迎えているはずの東京オリンピック・パラリンピックが延期され、5 月には戦後初となる夏の全国高校野球大会の中止が決定になるなど、国内及び全世界で大きな影響を与え続けている「新型コロナウイルス」。テレビや新聞では連日、感染者数や社会的影響についての報道が発表され、その影響は長期化の様相を呈しています。5 月 25 日に約 1 か月半ぶりに政府の緊急事態宣言に伴う外出自粛が全国で解除され、6 月 19 日には都道府県を跨ぐ移動の自粛要請が全国で緩和されるも、休業要請による痛手に加え、各地で様々な催事・行事が中止・延期となった事が影響し、国内・地域経済には大きな打撃をもたらす結果となった。

こうした中、当金庫営業地区の今期（令和 2 年 4 月～6 月）業況 D.I. は、△40.0（前期△20.6）と悪化を示し、リーマンショック時や東日本大震災時に匹敵する数値を表した。

地区内全般では、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の停滞・減速が波及し、全産業に大打撃を与え、行動自粛による消費の低迷に休業要請が加わって、建設業以外の全ての業種で業況悪化を示した。

地場産業でも同じく影響を受け、飲食や宿泊などの観光関連と、漆器・建具業が大きく悪化を示し、受注減少から織布業、繊維・雑品業が、それに続いて悪化を示した。

来期（令和 2 年 7 月～9 月）の地区内における業況 D.I. は、△40.0 と低い水準での横這いを予想する。

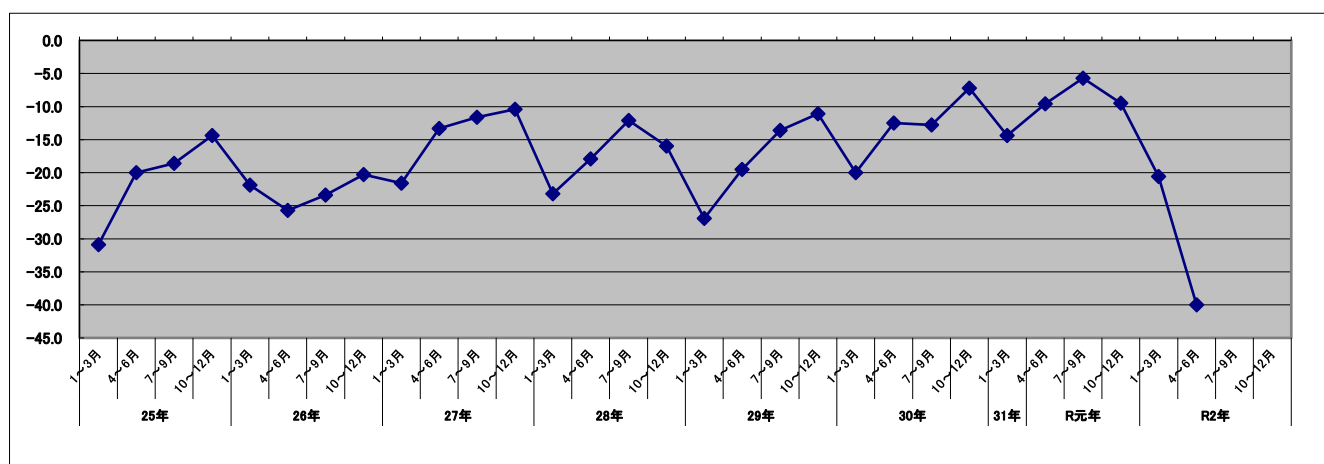
地区内全般では、行動自粛が緩和された事による個人消費の持ち直しや GoTo キャンペーンに対する期待などから、卸売業・小売業・サービス業で改善を予想するも、回復水準を低めにみている。製造業・不動産業は、新型コロナウイルスの先行きが不透明であり、今後も長期化するとの見方が多く、現状水準での横這いを予想している。建設業では、新型コロナウイルスの影響による企業の設備投資計画の見直しや、個人の住宅投資等に関する動向が鈍いことから、悪化を予想している。

地場産業においては、電子部品・半導体製造業、木材業と織布業で改善を見込み、縫製業と建具業は横這いで推移し、そのほかの業種では悪化を予想している。いずれの業種も現在の業況が大きく改善はしないと予想しており、中でも例年この時期に改善を示す観光業では、各種イベントの中止や海水浴場閉鎖などから厳しい予想をしている。

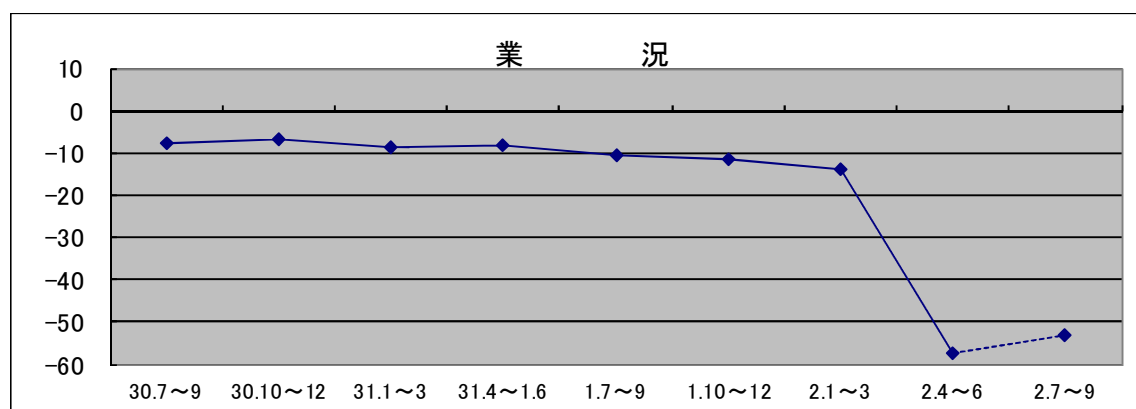
当面、新型コロナウイルスが世界的な問題として、国内・地方経済にも多大な影響を与える事が窺える中、GoTo キャンペーンに期待を寄せる声は多い。第一弾として 7 月開始の GoTo トラベルには、多数の問合せと申込みがあった。このあと順次、GoTo イート・イベント・商店街の各キャンペーンが実施される予定であるが、これを一過性のものとせず、この状況を打破していく起爆剤とすることが肝要である。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H25年	1～3月	△ 30.9	H29年	1～3月	△ 26.9
	4～6月	△ 20.0		4～6月	△ 19.5
	7～9月	△ 18.6		7～9月	△ 13.6
	10～12月	△ 14.4		10～12月	△ 11.1
H26年	1～3月	△ 21.9	H30年	1～3月	△ 20.0
	4～6月	△ 25.7		4～6月	△ 12.5
	7～9月	△ 23.4		7～9月	△ 12.8
	10～12月	△ 20.3		10～12月	△ 7.2
H27年	1～3月	△ 21.6	H31年	1～3月	△ 14.4
	4～6月	△ 13.3	R元年	4～6月	△ 9.6
	7～9月	△ 11.6		7～9月	△ 5.7
	10～12月	△ 10.4		10～12月	△ 9.5
H28年	1～3月	△ 23.2	R2年	1～3月	△ 20.6
	4～6月	△ 17.9		4～6月	△ 40.0
	7～9月	△ 12.1		7～9月	
	10～12月	△ 16.0		10～12月	



製造業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△57.4（前期△13.7）と大きく悪化を示した。

マスク関連などの医療向け製品製造と電子部品製造の一部を除き、業種を問わずに全体的には悪化の回答が多く見られた。なかでも漆器製造関連や建具製造、食品製造関係においては、その多くが悪化を回答した。来期についても厳しい見方を予想する先が多く、経済活動の縮小による受注の減少が重くのしかかっている。

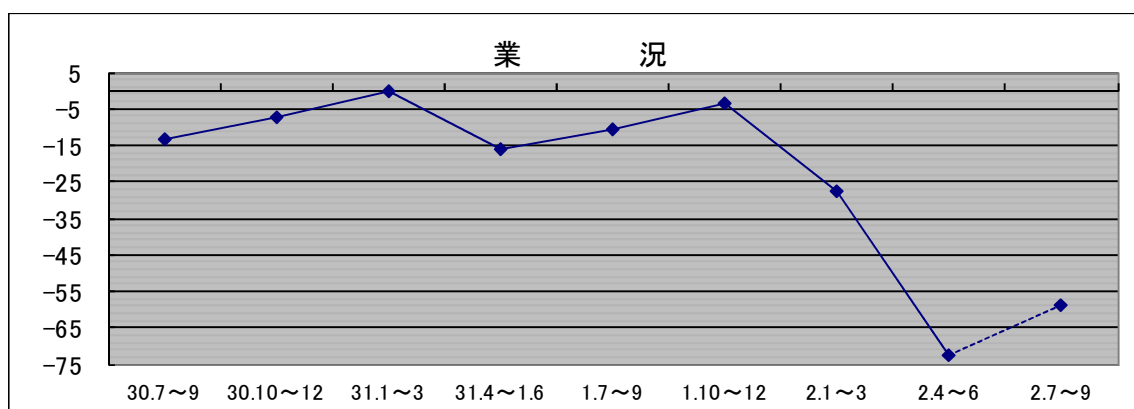
来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.は△53.2と、この状況での横這いを予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	△7.7	△7.0	△8.7	△8.2	△10.4	△11.3	△13.7	△57.4	△53.2
売 上	△1.0	△6.0	△12.8	△4.1	△5.2	△3.6	△15.8	△61.6	△30.0
収 益	△6.6	△8.5	△12.2	△4.6	△7.8	△8.8	△16.3	△59.5	△31.1
資金繰り	△6.6	△4.5	△2.6	△2.0	△9.8	△11.3	△8.4	△37.4	△31.6
人 手	△10.7	△11.6	△11.8	△11.2	△11.9	△8.2	△6.8	△2.1	△5.3
設 備	△4.6	△3.5	△4.1	△6.6	△6.2	△5.2	△3.7	△5.3	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	26.7%	提携先を見つける	32.9%
輸入製品との競争の激化	24.2%	販路を広げる	22.6%
利幅の縮小	6.6%	経費を節減する	16.4%

卸売業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）業況D.I.は△72.4（前期△27.6）と大きく悪化を示した。鮮魚、加工食品、木材、建築資材など、個人消費の低下に伴い厳しい回答が多かった。

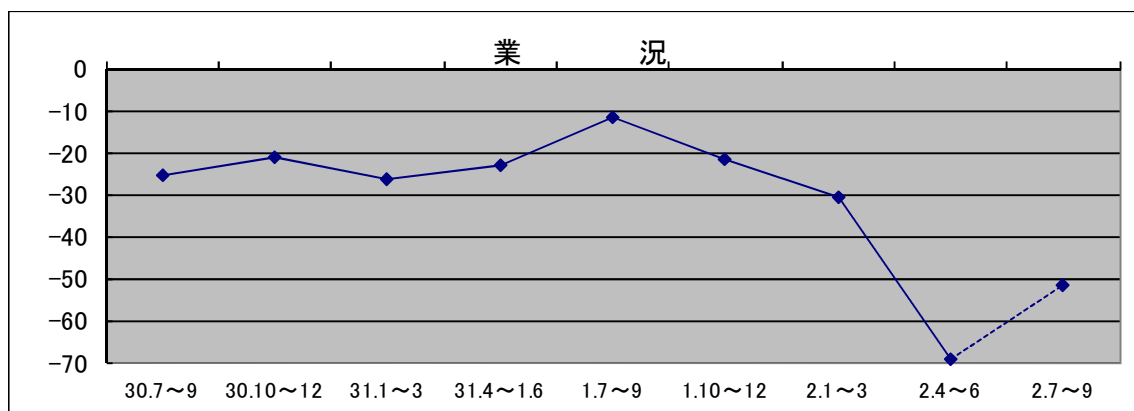
来期（R 2.7月～9月）の卸売業全体の見通しは、△58.6と若干の改善を予想するも、販売価格の下降傾向や取引先の減少、売上減少による資金繰り悪化も聞かれ、引き続き厳しい予想をする先は多い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△13.3	△7.1	0.0	△16.1	△10.7	△3.4	△27.6	△72.4	△58.6
売上	0.0	△3.6	△3.3	△12.9	△21.4	△3.4	△27.6	△65.5	△34.5
収益	△3.3	△10.7	△10.0	△19.4	△17.9	0.0	△27.6	△65.5	△34.5
資金繰り	△6.7	0.0	△6.7	△9.7	△14.3	△6.9	△6.9	△51.7	△51.7
仕入価格	10.0	0.0	6.7	△3.2	0.0	3.4	6.9	0.0	0.0
在庫	3.3	△7.1	0.0	△3.2	3.6	3.4	0.0	△3.4	△13.8

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	20.0%	提携先を見つける	31.5%
合理化の不足	20.0%	経費を節減する	20.5%
同業者間の競争の激化	10.7%	販路を広げる	17.8%

小売業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△69.1（前期△30.5）と大幅に悪化を示した。新型コロナウイルス感染症による影響から、食料品はまずまずといった回答が多かったが、幅広い業種で業況の悪化がみられ、なかでも呉服品・家電品・化粧品・貴金属・車などの高額品や、人の移動制限の影響もあって飲食店、燃料・衣料品などを商う先が厳しかった。

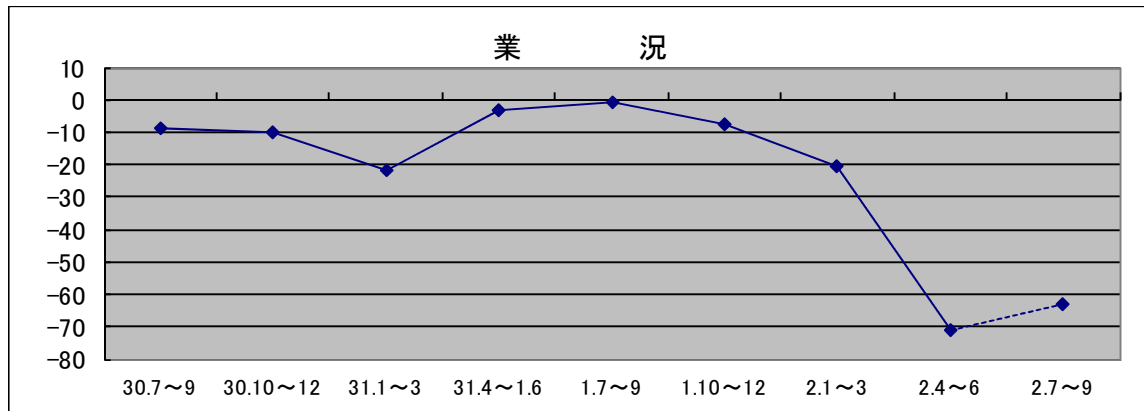
来期（R 2.7月～9月）業況D.I.については△51.6と改善を予想する。ただ、引き続き新型コロナウイルスの先行きによっては出口が見えない状況が続く可能性は高く、公的補助金・支援制度に対する期待への声が多い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	△25.5	△21.2	△26.4	△22.9	△11.6	△21.5	△30.5	△69.1	△51.6
売 上	△9.5	△11.1	△16.1	△15.4	△2.1	△16.9	△27.8	△63.9	△20.4
収 益	△12.0	△11.1	△16.6	△15.4	△2.6	△16.9	△27.3	△63.9	△22.0
資金繰り	△17.5	△20.2	△16.6	△12.9	△11.1	△7.7	△14.4	△25.1	△17.8
販売価格	8.0	△2.0	△1.6	4.0	0.0	11.8	△4.3	△9.9	△0.5
在 庫	1.5	3.0	5.2	1.0	5.8	2.6	4.3	3.7	0.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	23.4%	仕入先を開拓・選別する	33.3%
利幅の縮小	18.3%	経費を節減する	20.7%
地価の高騰	15.1%	品揃えを改善する	14.0%

サービス業



【概 況】

今期（R 2.4～6月）業況D.I.は△71.2（前期△20.5）と大きく悪化を示した。新型コロナウイルスの影響による観光人口落ち込み、人の動きが制限されたことが最大の原因である。とくに旅館・民宿などの宿泊業、旅行関連業種でもあるタクシーなどの旅客輸送のほか、自動車修販業（钣金含む）、飲食業が大きな痛手を受けた。また、理美容業も影響は大きかった。

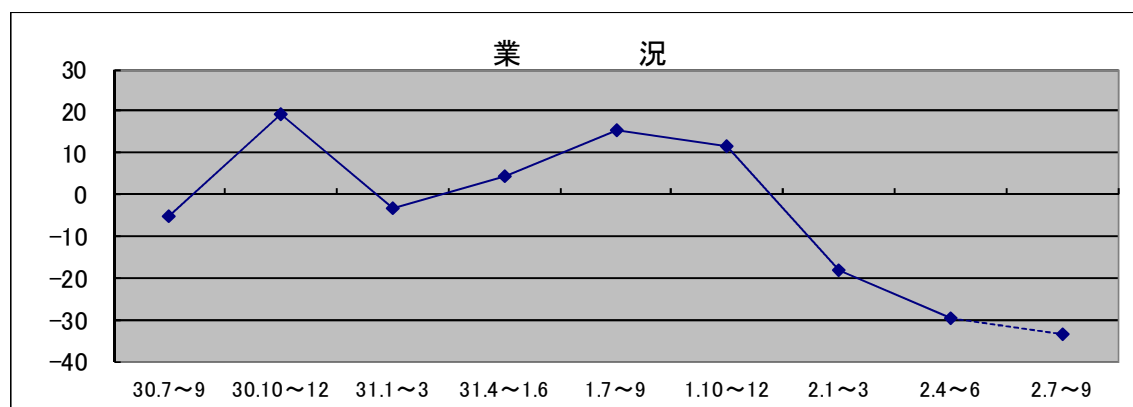
来期（R 2.7月～9月）のサービス業全体でのD.I.は、「Go To キャンペーン」に対する期待はあるが、△63.1と若干の改善を予想する。同ウイルスによる影響の長期化、拡大が払拭されておらず、当地でも各種催事や行事の自粛・取り止めが続いており、今後も当分この状況が続くことが想定されている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	△9.0	△9.9	△21.7	△3.4	△1.0	△7.8	△20.5	△71.2	△63.1
売 上	△6.6	△17.4	△20.8	△4.2	△2.0	△9.5	△23.9	△70.3	△32.4
収 益	△12.3	△12.4	△19.3	△5.9	△3.0	△11.2	△23.9	△68.5	△32.4
資金繰り	△5.7	△5.8	△13.3	△13.6	△6.9	△10.3	△16.2	△39.6	△29.7
料金価格	0.0	△1.7	0.0	5.9	2.0	5.2	1.7	△6.3	△2.7
設 備	△4.9	△5.8	△8.3	△5.1	△5.9	△5.2	△3.4	△1.8	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	22.5%	提携先を見つける	34.1%
代金回収の悪化	13.9%	経費を節減する	19.7%
同業者間の競争の激化	12.7%	販路を広げる	15.0%

建設業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△29.9（前期△18.2）と若干悪化を示した。公共工事は堅調であったが、一般住宅や民間の工事の動きが弱く、新型コロナウイルスによる影響で営業の見直しをせざるを得ない状況となったことも影響した。

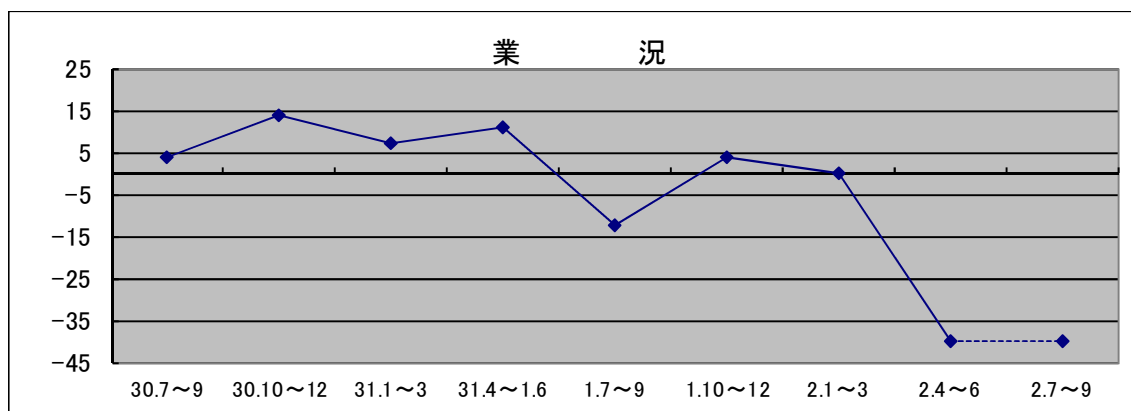
来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.は△33.3と若干の悪化を予想している。緊急事態宣言の解除により改善を見込む先はあるが、売上・収益の減少が続き、資金繰りの不安をする先も多く、今後の個人消費の行方と企業設備投資の動向、新型コロナウイルス感染症の動向に注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△5.4	19.4	△3.2	4.2	15.4	11.7	△18.2	△29.9	△33.3
売 上	0.0	18.3	△10.8	6.3	15.4	13.8	△20.5	△46.0	△24.1
収 益	△3.3	11.8	△9.7	2.1	9.9	10.6	△11.4	△43.7	△26.4
資金繰り	△4.3	3.2	0.0	2.1	△2.2	2.1	△13.6	△24.1	△17.2
請負価格	△2.2	2.2	6.5	△4.2	1.1	11.7	△4.5	△19.5	△12.6
人 手	△13.0	△20.4	△11.8	△23.2	△22.0	△25.5	△12.5	△11.5	△11.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	20.9%	技術力を高める	28.3%
同業者間の競争の激化	16.3%	経費を節減する	17.3%
人件費以外の経費の増加	11.2%	販路を広げる	17.3%

不動産業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△40.0（前期0.0）と悪化を示した。金沢地区とその近郊で動きが鈍く、業者間でも景況感に差が出た。

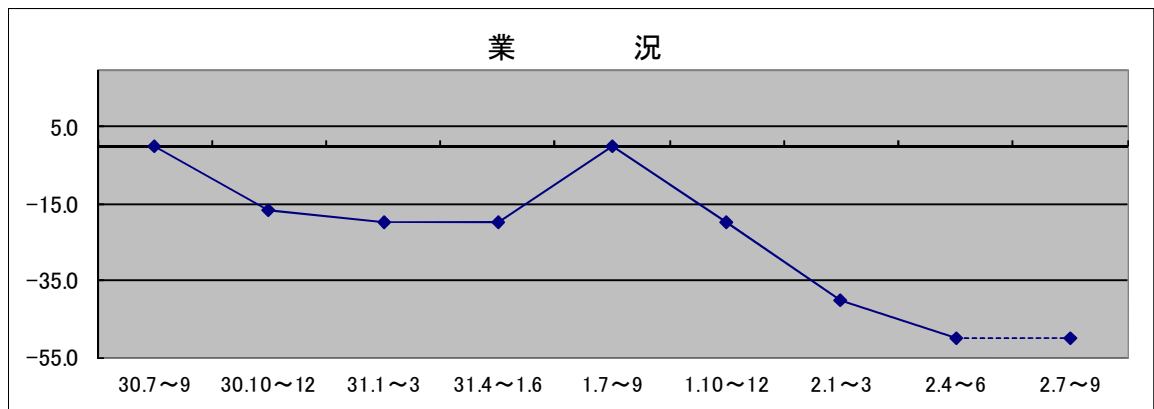
来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.は△40.0と横這いを予想しているが、悪化と改善を見込む先で分かれている。新型コロナウイルスによる影響は長期に亘っており、各種イベントの自粛や取り止めが人とモノの流れ、設備投資にも影響を与えるものとなっており、今後の動きから目が離せぬ状況となっている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	3.8	13.8	7.1	11.1	△12.2	3.7	0.0	△40.0	△40.0
売 上	0.0	13.8	7.1	7.4	△4.9	3.7	3.8	△36.0	△36.0
収 益	3.8	10.3	3.6	7.4	△7.3	3.7	3.8	△36.0	△36.0
資金繰り	△3.8	△6.9	△14.3	3.7	△7.3	3.7	△7.7	△24.0	△24.0
販売価格	7.7	10.3	3.6	14.8	9.8	11.1	3.8	△4.0	△8.0
在 庫	△3.8	△6.9	△18.5	0.0	2.4	△3.7	0.0	△8.0	△16.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	33.3%	経費を削減する	16.7%
売上の停滞、減少	27.3%	提携先を見つける	15.6%
大手企業との競争の激化	15.2%	特になし	13.3%

能登地区の縫製業



【概 況】

前期に業況D.I.の大幅な悪化を予想していたが、結果、今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△50.0（前期△20.0）と予想を超えて大幅な悪化を示した。

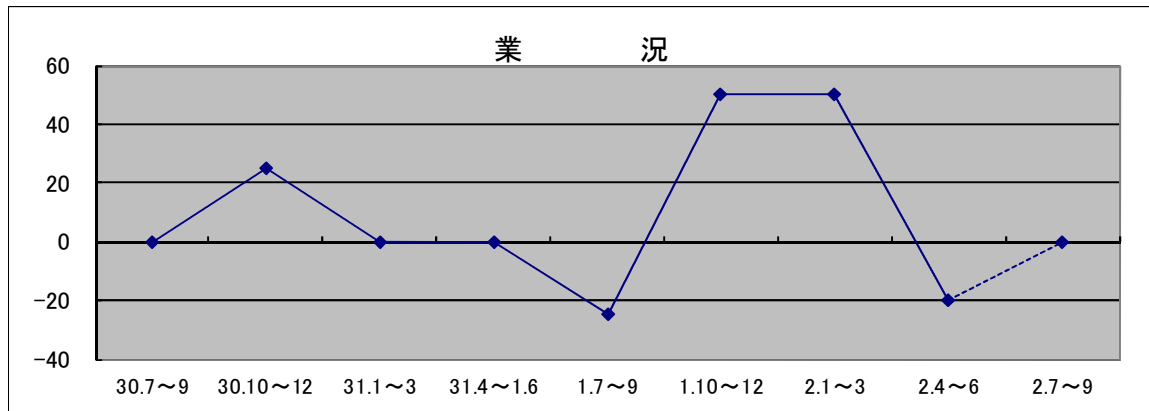
来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.は△50.0と低水準での横這いを予想している。現在は、十分な受注が確保できておらず、売上・収益ともに厳しい状況にあり、コロナウイルスの影響が長期化すれば、個人消費の先行き不透明感からも、ますます楽観視できない状況となっている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	33.3	0.0	△16.7	△20.0	△20.0	0.0	△20.0	△50.0	△50.0
売 上	33.3	0.0	0.0	0.0	△40.0	20.0	△20.0	△75.0	△25.0
収 益	0.0	20.0	0.0	△20.0	△40.0	0.0	△20.0	△75.0	△50.0
資金繰り	0.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△50.0
人 手	△66.7	△40.0	△33.3	△20.0	△20.0	0.0	△20.0	0.0	△25.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△20.0	△25.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	25.0%	提携先を見つける	23.1%
売上の停滞・減少	18.8%	販路を広げる	15.4%
人件費の増加	12.5%	工場・機械を増設・移転する	15.4%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）業況D.I.については△20.0（前期50.0）とコロナウイルス感染症の影響から大きく悪化を示した。

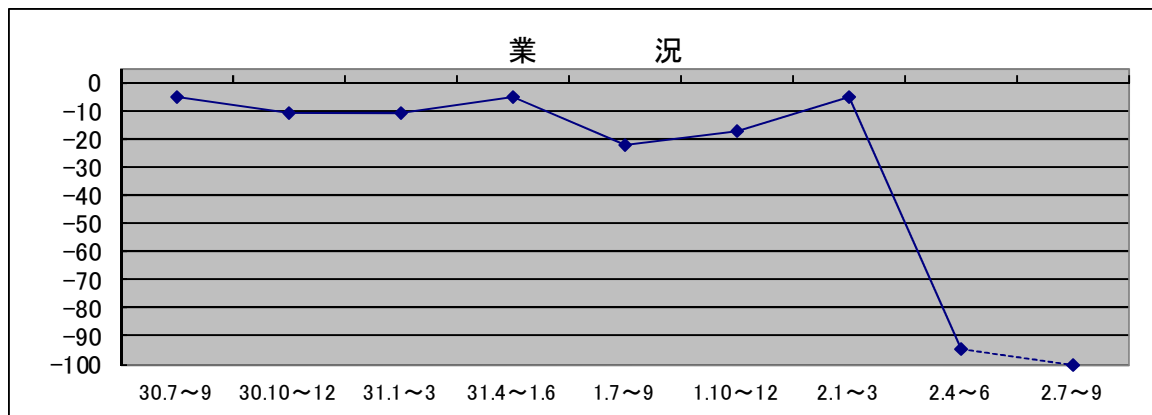
来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.は0.0と改善を予想するが、世界的に治まりを見せないコロナウイルス感染症の影響により、需要や部品供給に対する不安の声は多い。今後も各国の状況から目が離せず、第二波の恐れも予想されることから、見通しは予断を許さない状況にある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	△25.0	50.0	△20.0	0.0
売 上	50.0	0.0	0.0	△33.3	△100.0	25.0	50.0	△20.0	40.0
収 益	50.0	0.0	25.0	0.0	△100.0	0.0	50.0	△40.0	40.0
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	△50.0	△25.0	0.0	△40.0	△20.0
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	△50.0	△20.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	28.6%	提携先を見つける	30.8%
売上の停滞・減少	21.4%	販路を広げる	15.4%
人件費の増加	14.3%	経費を節減する	15.4%

能登地区の漆器業



【概 況】

新型コロナウイルスの世界的影響から、国外を問わず観光客の減少がみられ、今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△94.4（前期△5.6）と大幅な悪化を示した。

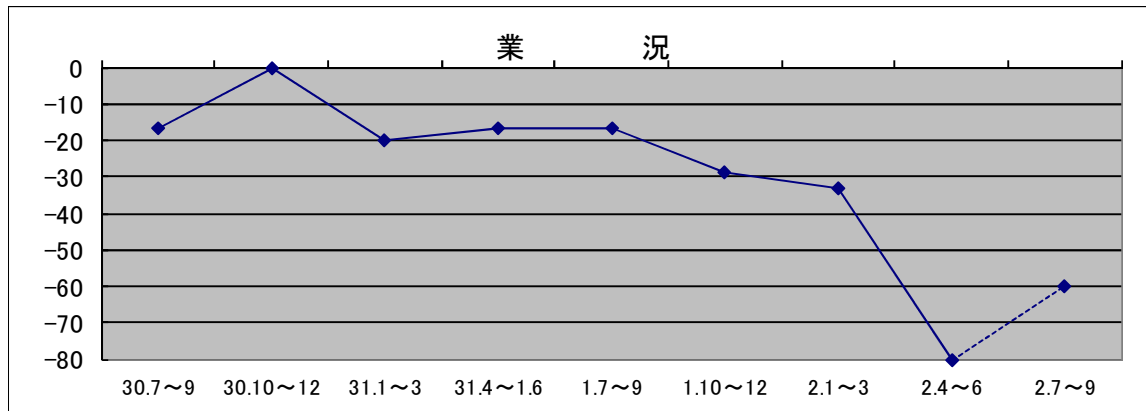
来期（R 2.7月～9月）は観光シーズンに向かい、通常であれば売上増加が期待できる時期であるが、コロナウイルス感染症の影響による海外観光客と国内観光客の減少が続くと予想され、催事やイベントが自粛ムードから次々と中止を決定していることから、業況D.I.は来期も悪化を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	4～6月	7～9月
業 況	△5.6	△11.1	△11.1	△5.6	△22.2	△17.6	△5.6	△94.4	△100.0
売 上	11.1	△11.1	△5.6	△5.6	△5.6	0.0	△5.6	△88.9	△50.0
収 益	11.1	△11.1	0.0	0.0	△11.1	0.0	△5.6	△88.9	△50.0
資金繰り	△5.6	0.0	0.0	△5.6	△38.9	0.0	△11.1	△61.1	△55.6
人 手	△11.1	0.0	△5.6	△11.1	△11.1	0.0	5.6	5.6	5.6
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	29.5%	提携先を見つける	35.0%
輸入製品との競争の激化	27.3%	販路を広げる	32.5%
利幅の縮小	6.8%	経費を節減する	10.0%

能登地区の木材業



【概 況】

外材入荷量が減少し、地元木材入荷は横這いに推移したが、単価は総じて下げ傾向となっている。結果、今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△80.0（前期△33.3）と悪化を示した。

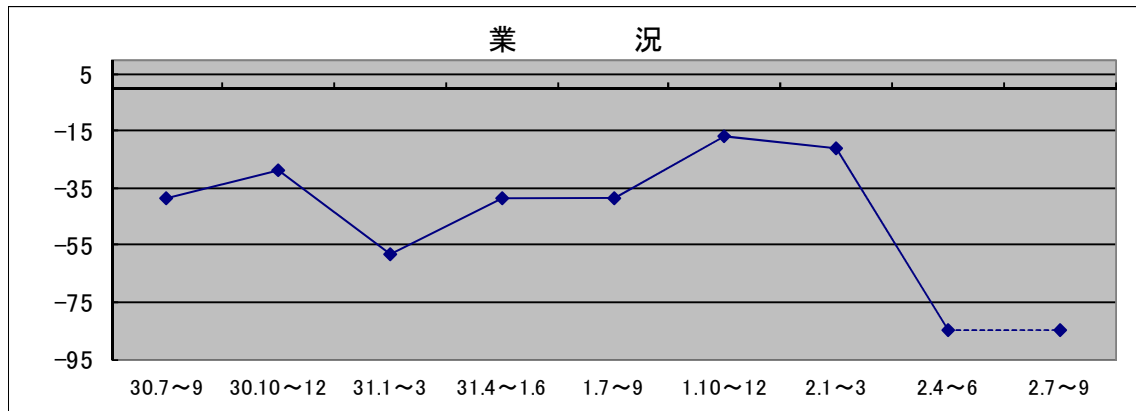
来期（R 2.7月～9月）については、入荷は横ばいに推移するも、住宅市場が弱い動きから需要の減少と販売単価の低下が予想され、業況D.I.は△60.0と弱い改善を予想する。経営上の問題点としては、前回まで「輸入製品との競争の激化」が多かったが、今回は「売上の停滞、減少」をあげるものが多かった。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△16.7	0.0	△20.0	△16.7	△16.7	△28.6	△33.3	△80.0	△60.0
売上	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△28.6	△33.3	△80.0	△60.0
収益	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△28.6	△33.3	△80.0	△60.0
資金繰り	△16.7	0.0	16.7	△16.7	△16.7	△28.6	△16.7	△60.0	△60.0
人手	△33.3	△20.0	△16.7	0.0	0.0	△14.3	0.0	△20.0	△20.0
設備	△16.7	△20.0	△16.7	△16.7	△16.7	0.0	△16.7	△50.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞、減少	27.3%	提携先を見つける	35.7%
輸入製品との競争の激化	18.2%	販路を広げる	21.4%
同業者間の競争の激化	9.1%	経費を削減する	14.3%

能登地区の建具業



【概 況】

例年改善を見せる時期であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で建設全般の動きは弱く、住宅投資が上昇しない流れを受け、今期（R 2.4月～6月）業況D.I.は△84.6（前期△21.4）と、大きく悪化した。

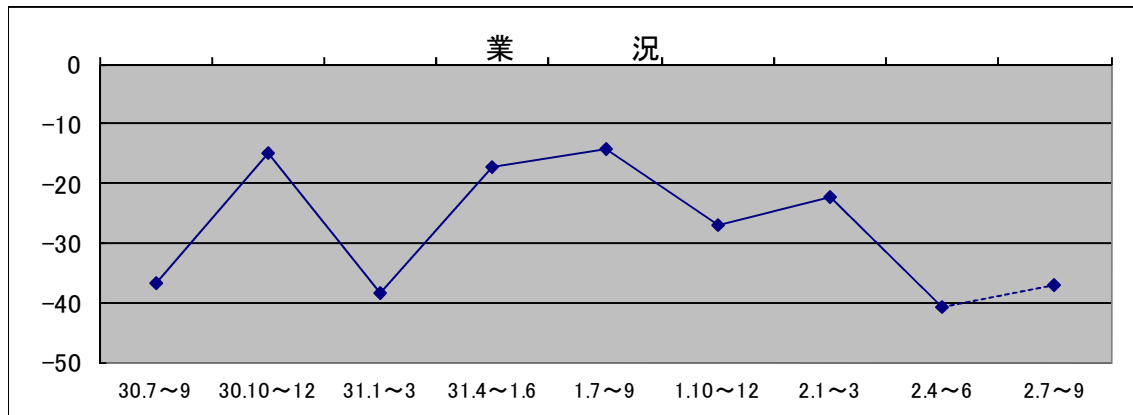
来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.については、引き続き、受注状況が厳しい事を予想しており、この状況での横這いを予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	△38.5	△28.6	△58.3	△38.5	△38.5	△16.7	△21.4	△84.6	△84.6
売 上	△30.8	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△16.7	△21.4	△84.6	△76.9
収 益	△38.5	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△16.7	△21.4	△84.6	△76.9
資金繰り	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△76.9	△76.9
人 手	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	41.9%	提携先を見つける	46.8%
同業者間の競争の激化	35.5%	販路を広げる	25.5%
輸入製品との競争の激化	6.5%	経費を節減する	23.4%

能登地区の織布業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）業況D.I.については△40.7（前期△22.2）と悪化を示した。

来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.については△37.0と若干の改善を予想するも、海外・国内ともに消費が低迷し、受注の減少が予想される中、コロナウイルスの収束もまったく見えてこない状況にあることから、思ったような改善は期待できないと予想する先が多い。

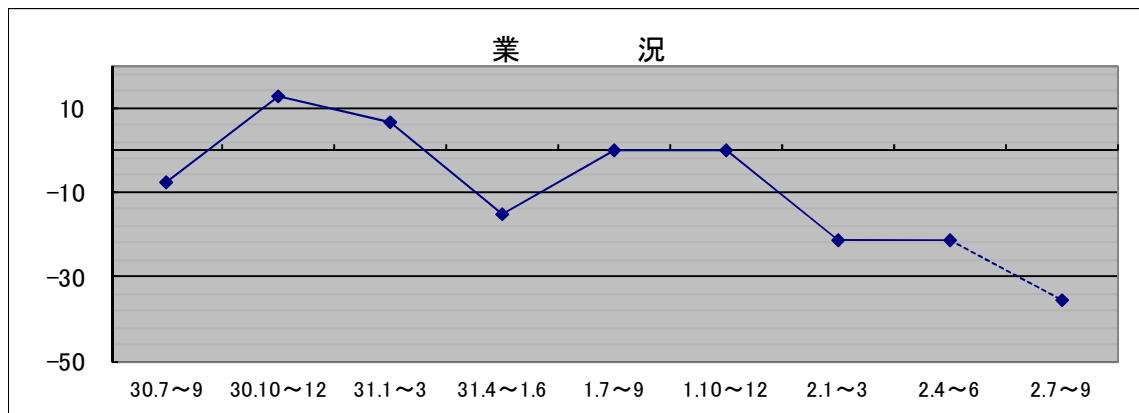
反面、人手不足は改善してきているとする先は多いが、先行き不透明感もあって、設備投資等については控えようとする動きが強い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	△36.7	△14.8	△38.5	△17.2	△14.3	△26.9	△22.2	△40.7	△37.0
売 上	△30.0	0.0	△38.5	△13.8	△7.1	△19.2	△22.2	△48.1	△18.5
収 益	△30.0	△3.7	△38.5	△13.8	△7.1	△19.2	△18.5	△48.1	△18.5
資金繰り	△13.3	△11.1	△19.2	△6.9	△10.7	△15.4	△11.1	△22.2	△18.5
人 手	△10.0	△11.1	△3.8	△17.2	△17.9	△11.5	△11.1	0.0	0.0
設 備	△3.3	△3.7	3.8	△10.3	△7.1	△7.7	△7.4	△7.4	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の液化	22.8%	販路を広げる	29.9%
売上の停滞・減少	20.7%	提携先を見つける	28.4%
地場産業の衰退	9.8%	新製品。技術を開発する	7.5%

能登地区の繊維・雑品業



【概 況】

今期（R 2.4月～6月）業況D.I.は△21.4と横這いを示した。コロナウイルスの影響により、季節商品の売れ行きが悪く、小ロット受注などから、売上・収益ともに改善が見られなかった。

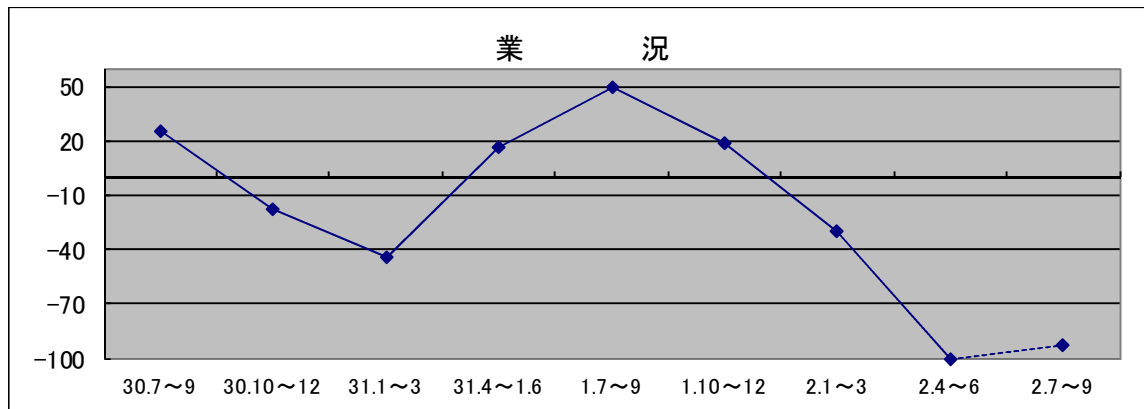
来期（R 2.7月～9月）の業況D.I.については、△35.7と更なる悪化を予想している。業界内では依然格差が大きく、医療向けの特殊高機能繊維に関わるゴム入り細巾織物製造は安定しているが、レース業（エンブ等）においては苦戦が強いられている。世界的な問題となったコロナウイルスから、マスク関連の受注は多く、設備投資を行なった先もある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年(令和1年)				令和2年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△7.7	12.5	6.7	△15.4	0.0	0.0	△21.4	△21.4	△35.7
売 上	△7.7	25.0	0.0	0.0	7.7	△7.1	△28.6	△21.4	△42.9
収 益	△7.7	6.2	△6.7	△7.7	△7.7	0.0	△21.4	△21.4	△42.9
資金繰り	△15.4	△12.5	△6.7	0.0	△7.7	△7.1	△7.1	△7.1	△7.1
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	23.8%	提携先を見つける	28.6%
輸入製品との競争の激化	23.8%	販路を広げる	21.4%
工場・機械の狭小・老朽化	9.5%	情報力を強化する	10.7%

能登地区の観光業



【概 況】

コロナウイルス感染症の影響を、まともに受けた今期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△100.0（前期△29.4）と、過去例がない悪化を示した。

来期（R 2.7月～9月）は夏の観光シーズンを迎えるが、業況D.I.は△93.3と、非常に厳しい予想をしている。新型コロナウイルスによる自粛ムードからの観光客減少、とくに団体客の減少が続くことが予想され、インバウンドも期待出来ない先行きが不透明な状況となっている。人手不足感は解消されるも、依然、業界では収束が見えぬ現状を危惧し、打つ手が見出せていない状況にある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年		平成31年（令和1年）				令和2年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	25.0	△17.6	△44.4	16.7	50.0	18.8	△29.4	△100.0	△93.3
売 上	45.0	△52.9	△38.9	44.4	57.1	△6.2	△35.3	△100.0	△20.0
収 益	40.0	△47.1	△29.4	33.3	57.1	△6.2	△35.3	△100.0	△26.7
資金繰り	△10.0	△5.9	△16.7	△22.2	△7.1	0.0	△35.3	△73.3	△66.7
料金価格	0.0	5.9	0.0	5.6	0.0	12.5	5.9	△13.3	△6.7
設 備	△5.0	△5.9	△11.1	△11.1	△21.4	△6.2	△11.8	6.7	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	23.6%	提携先を見つける	32.6%
売上の停滞・減少	23.6%	経費を削減する	23.3%
代金回収の悪化	18.2%	宣伝・広告を強化する	16.3%

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	うち所定外
30年 7月	1.98	150.8	10.1
30年 8月	1.97	144.6	9.3
30年 9月	2.00	147.7	10.3
30年 10月	2.02	149.7	10.5
30年 11月	2.06	154.6	11.3
30年 12月	2.07	147.6	10.4
31年 1月	1.99	133.4	9.5
31年 2月	1.95	142.5	10.0
31年 3月	1.91	143.5	10.3
31年 4月	1.95	148.8	10.4
1年 5月	1.88	137.1	9.7
1年 6月	1.97	148.0	9.8
1年 7月	2.00	150.3	9.8
1年 8月	2.03	141.8	9.4
1年 9月	2.00	146.0	10.2
1年 10月	1.92	146.5	10.1
1年 11月	1.89	149.4	10.1
1年 12月	1.89	147.7	9.7
2年 1月	1.73	134.4	8.2
2年 2月	1.70	142.8	9.0
2年 3月	1.59	143.2	9.3
2年 4月	1.46	143.8	8.2

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
30年 7月	102.0	1.5
30年 8月	102.7	1.9
30年 9月	102.5	1.6
30年 10月	102.9	1.9
30年 11月	102.5	1.0
30年 12月	102.2	0.4
31年 1月	102.0	0.0
31年 2月	101.9	-0.1
31年 3月	102.5	0.6
31年 4月	102.9	1.1
1年 5月	102.9	0.8
1年 6月	102.4	0.5
1年 7月	102.3	0.3
1年 8月	102.8	0.1
1年 9月	102.7	0.2
1年 10月	103.3	0.4
1年 11月	103.2	0.7
1年 12月	103.1	0.9
2年 1月	103.0	0.9
2年 2月	102.6	0.7
2年 3月	102.7	0.2
2年 4月	102.5	-0.4
2年 5月	102.7	-0.2

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
30年 7月	276	2,550	16,687	117,047
30年 8月	269	2,279	16,469	115,686
30年 9月	254	1,806	16,183	114,207
30年 10月	281	2,691	15,972	112,457
30年 11月	235	2,204	15,818	111,698
30年 12月	282	2,345	15,640	110,858
31年 1月	184	2,429	15,480	109,852
31年 2月	254	2,061	15,311	109,014
31年 3月	303	2,902	15,003	107,844
31年 4月	266	2,305	14,870	107,380
1年 5月	265	2,147	14,723	106,560
1年 6月	318	2,501	14,563	105,931
1年 7月	315	3,079	14,403	105,560
1年 8月	291	2,371	14,280	105,204
1年 9月	307	2,493	14,167	104,868
1年 10月	253	1,899	14,016	104,188
1年 11月	292	3,129	13,873	103,849
1年 12月	321	3,060	13,750	103,852
2年 1月	223	2,433	13,699	103,526
2年 2月	239	2,216	13,597	102,959
2年 3月	456	5,922	13,470	103,826
2年 4月	819	17,705	13,801	112,928
2年 5月	1,308	24,918	14,410	127,514

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
30年 6月	10	419
30年 7月	9	964
30年 8月	6	534
30年 9月	4	296
30年 10月	7	281
30年 11月	6	2,561
30年 12月	2	36
31年 1月	9	571
31年 2月	5	1,931
31年 3月	5	364
31年 4月	6	109
1年 5月	7	415
1年 6月	7	107
1年 7月	9	281
1年 8月	6	591
1年 9月	8	417
1年 10月	5	414
1年 11月	5	601
1年 12月	3	30
2年 1月	8	1,916
2年 2月	8	910
2年 3月	4	198
2年 4月	5	471
2年 5月	4	1,635

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
30年 6月	119	24,423	742	70
30年 7月	84	15,406	642	62
30年 8月	93	18,067	645	59
30年 9月	103	19,681	725	66
30年 10月	143	25,960	723	66
30年 11月	128	22,801	660	69
30年 12月	89	15,101	606	54
31年 1月	78	16,724	490	47
31年 2月	91	17,691	727	74
31年 3月	116	24,600	732	76
31年 4月	162	30,811	782	75
1年 5月	103	17,880	569	59
1年 6月	120	21,572	1,001	86
1年 7月	97	19,022	689	62
1年 8月	113	22,725	612	60
1年 9月	100	15,630	598	57
1年 10月	97	17,816	745	66
1年 11月	141	29,300	740	70
1年 12月	98	27,393	552	50
2年 1月	76	13,352	456	44
2年 2月	75	1,647	399	36
2年 3月	194	3,733	605	59
2年 4月	95	1,869	569	56

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
30年 6月	506	14,439
30年 7月	565	12,481
30年 8月	513	10,562
30年 9月	536	14,840
30年10月	545	13,762
30年11月	466	7,732
30年12月	370	6,427
31年 1月	113	10,977
31年 2月	513	7,774
31年 3月	229	8,061
31年 4月	447	51,963
1年 5月	437	28,033
1年 6月	545	14,207
1年 7月	628	19,993
1年 8月	426	10,617
1年 9月	506	15,203
1年 10月	538	15,128
1年 11月	421	8,984
1年 12月	337	6,335
2年 1月	271	6,562
2年 2月	224	7,833
2年 3月	124	3,595
2年 4月	565	45,139
2年 5月	372	20,575

資料:東日本建設業保証㈱(石川県内)

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
30年 6月	3,225	1,791
30年 7月	3,442	1,765
30年 8月	2,522	1,324
30年 9月	3,401	1,914
30年 10月	3,182	1,598
30年 11月	3,285	1,884
30年 12月	2,573	1,361
31年 1月	2,400	1,506
31年 2月	3,547	1,905
31年 3月	5,850	2,901
31年 4月	2,511	1,570
1年 5月	2,731	1,608
1年 6月	3,271	1,780
1年 7月	3,505	1,701
1年 8月	2,563	1,601
1年 9月	3,702	2,183
1年 10月	2,037	1,322
1年 11月	2,618	1,401
1年 12月	2,412	1,201
2年 1月	2,199	1,338
2年 2月	3,132	1,818
2年 3月	4,963	2,601
2年 4月	1,657	941
2年 5月	1,611	713

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
30年 7月	63,816	15,500
30年 8月	98,503	23,300
30年 9月	69,984	14,300
30年 10月	79,254	17,800
30年 11月	84,619	17,300
30年 12月	74,360	10,800
31年 1月	54,447	9,200
31年 2月	60,461	9,700
31年 3月	74,459	12,100
31年 4月	58,625	13,200
1年 5月	63,596	16,700
1年 6月	60,805	13,300
1年 7月	58,182	14,100
1年 8月	92,608	20,700
1年 9月	65,094	14,600
1年 10月	67,084	15,400
1年 11月	80,191	16,800
1年 12月	67,743	11,200
2年 1月	53,477	8,800
2年 2月	53,368	10,400
2年 3月	33,444	6,600
2年 4月	5,366	1,300
2年 5月	267	2,400

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

◆ 織物生産高

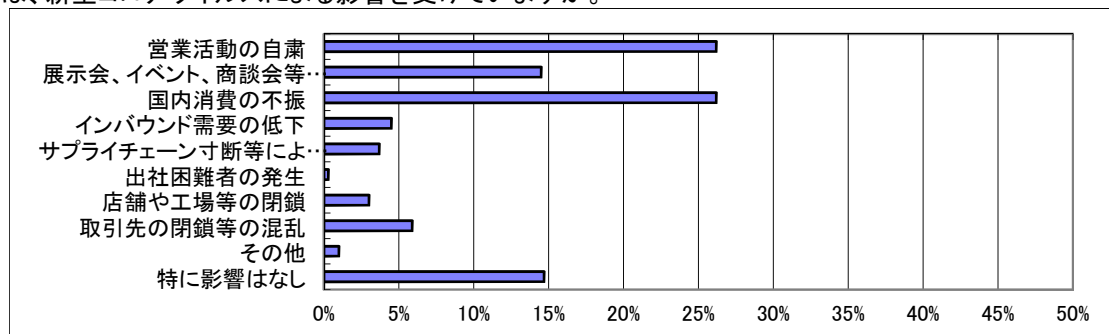
(千㎡)

	合計
30年 7月	22,899
30年 8月	20,669
30年 9月	21,934
30年 10月	23,621
30年 11月	22,945
30年 12月	21,010
31年 1月	21,040
31年 2月	21,580
31年 3月	23,248
31年 4月	22,002
1年 5月	22,017
1年 6月	22,592
1年 7月	23,924
1年 8月	20,338
1年 9月	22,278
1年 10月	24,547
1年 11月	22,574
1年 12月	21,202
2年 1月	19,145
2年 2月	21,066
2年 3月	20,459
2年 4月	19,164

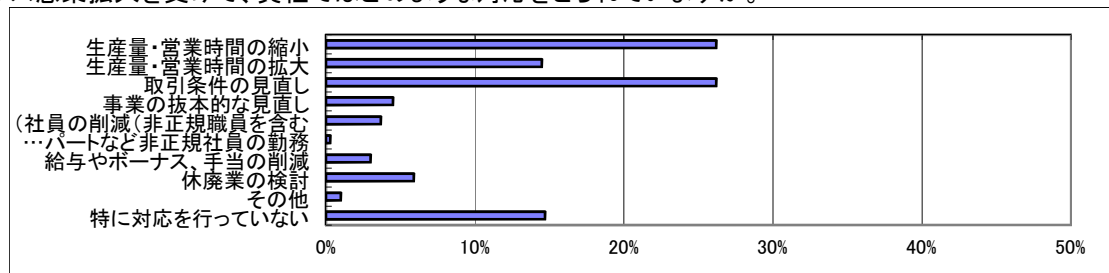
資料:石川県企画開発

【新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について】特別調査

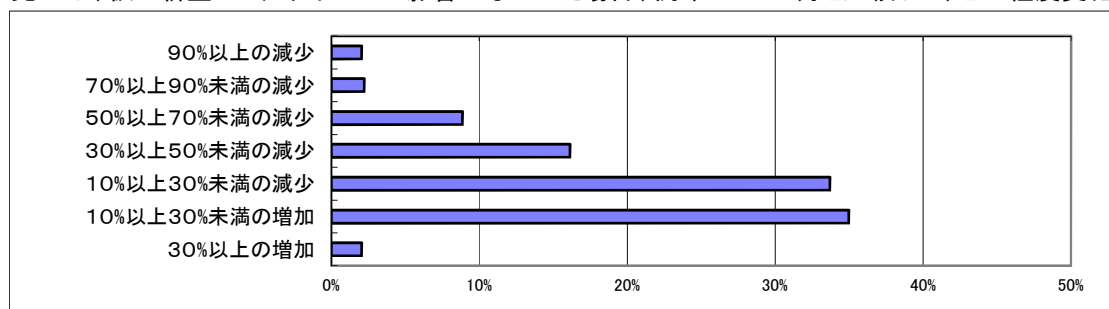
問1. 貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。



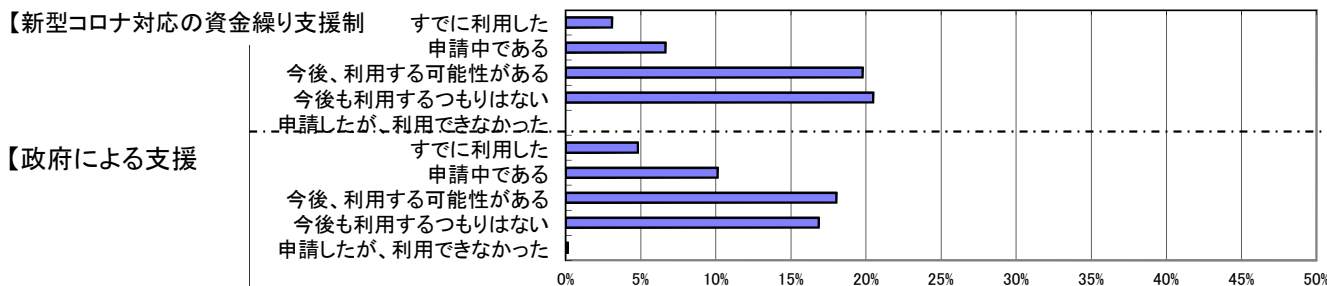
問2. 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか。



問3. 今期(4～6月)の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合、例年の4～6月と比較して、どの程度変化していますか。



問4. 危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度をりようしましたか。また、資金繰り以外の政府による支援策(補助金、休業補償、減税、納税猶予など)を受けましたか。



問5. 災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をしていると思いますが、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。保有が最も少ない時期(売掛金の回収直前など)を想定したうえで、お答えください。また、2020年中の資金繰りについて、どうお考えですか。

